

令和3年度 第1学年 前期授業アンケート結果 分析表

国語総合 (現代文)	言語世界の広がりへの案内となるような素材文を扱っており、多くの生徒が主体的に取り組んでいる。引き続き思考の深まりに繋がる授業を目指したい。
国語総合 (古典)	古文漢文共に入門的な作品を扱っており、多くの生徒が予習復習のリズムを作って取り組んでいる。生涯に渡って古典を友とすることに繋がる授業を目指したい。
現代社会	多くの生徒が授業に集中して取り組めており、授業の難易度もちょうど良いと回答している。後期も引き続き、生徒たちが実生活を振り返り深い学びを得られるような授業を心掛けたい。
数学Ⅰ	多くの生徒が集中して授業に取り組んでいる。進度・難易度とも適切であると感じている生徒が多く、積極的に学習に取り組む生徒が増えている。予習・復習と問題演習など、学習の仕方などについても自立していくことができるような働きかけとともに、表現力や状況把握能力など様々な力を育む授業展開を目指したい。
探究数学A	多くの生徒が集中して授業に取り組んでいる。進度・難易度とも適切であると感じている生徒が多く、積極的に学習に取り組む生徒が増えている。予習・復習と問題演習など、学習の仕方などについても自立していくことができるような働きかけとともに、表現力や状況把握能力など様々な力を育む授業展開を目指したい。
自然科学基礎 (物理分野)	多くの生徒が集中して授業に取り組んでいる。今年度は学校設定科目「自然科学基礎」の物理分野となり、日常生活と関連させつつ、自然科学の探究手法を身につけるための授業を展開している。週1回の授業となり、授業間隔が空いてしまうが、なるべく1時間の授業で完結するよう内容を工夫していきたい。
自然科学基礎 (化学分野)	授業を大切にしようとする姿勢が日々の様子、アンケートの結果からうかがえる。実験やグループワークにも主体的に取り組む、理解の深まりや関心の高まりに繋がっていると思われる。しだいに内容が難しくなるため、今後も同様の取り組みが続くような授業展開を心がけたい。
自然科学基礎 (生物分野)	アンケートからは、進度や難易度などは概ね適切であると答える生徒が多かった一方で、その内容をより深く学びたいと答える生徒の割合はそれほど多くない。1単位の授業の中で興味関心を高めることができるような授業展開に努めたい。
保健体育	大半の生徒が授業に集中して取り組めており、進度・難易度についても適切である。体育実技の授業は週2回ではあるが、全体の技能・体力の向上が見られる授業内容の工夫が必要である。今後もパソコン(タブレット)の活用、グループ学習等を積極的に取り入れた充実した授業を実施していきたいと考える。
音楽Ⅰ	多くの生徒が集中して取り組んでいる。音楽への関心・意欲が高く、さらに、グループ活動を通して学習意欲が高まり理解が深まったと回答する生徒が多かった。今後も、生涯にわたって芸術を愛好していく生徒の育成に努めたい。
美術Ⅰ	多くの生徒が授業に集中して取り組んでいる。特に授業の難易度・授業の進度・先生の説明はポイントが的確でわかりやすいですかについて、生徒はちょうどよい(大体わかりやすい)と回答している。今後も適切なアドバイスや指導で授業を展開していきたい。
書道Ⅰ	多くの生徒が授業に集中して取り組めており、授業の難易度もちょうど良いと回答している。グループ学習はほとんどできなく、机の編成もグループ化できないので、今後も対応に苦慮する。生徒たちの意欲がより増し、芸術的な思考が活性化できる内容を今後も展開していきたい。
コミュニケーション英語Ⅰ	多くの生徒が集中して授業に取り組んでいる。進度・難易度とも適切であると感じている生徒が多く、積極的に英語学習に取り組む生徒が増えている。予習・復習の習慣化を更に促し、英語運用能力の向上を図る授業展開を目指したい。
英語表現Ⅰ	多くの生徒が集中して取り組んでいる。授業への関心・意欲が高く、授業を肯定的に捉えている生徒の割合も高い。予習・復習を促しながら、コミュニケーション力を伸ばすための効果的な活動を更に検討し、発展的な内容に取り組んでいきたい。
家庭基礎	多くの生徒が集中して授業に取り組んでいる。単元により、生徒の興味関心にばらつきはあると思うが、興味関心を持てるような授業を心がけていきたい。2時間連続の授業のため、座学は集中力が途切れがちになるがグループ学習などを積極的に取り入れて授業展開をしていきたい。
情報の科学	多くの生徒が集中して取り組んでいる。引き続き興味関心が持てるような授業展開を心掛け、高い関心・意欲を持つ生徒をさらに伸ばす指導を行う。実習では結果に至るまでの過程をしっかりと理解できるようにプログラミング的思考力の育成に努めたい。

令和3年度 第2学年 前期授業アンケート結果 分析表

現代文B	概ね取り組みの状況は良好である。より多くの文章に触れさせながら、考えること・書くことの場面をできる限り確保していきたい。また、様々な文章を読み関連させて考えるという機会を少しでも多く持てるよう心がけたい。
古典B	1年次に比べると、学習への取り組みや古典に対する印象は良くなってきているように思われる。文法事項の習得で苦勞している生徒への目配りもしつつ、文章を読み、味わい、楽しむという経験がより多くできるよう授業を組み立てていきたい。また、指示を明確・具体的に出すことで現在の予習への取り組みを維持していきたい。
世界史A	概ね良好な回答を得たと考えている。後期はグループ学習・調べ学習を取り入れた授業を積極的におこない、生徒の理解や意欲が高まり、かつ学習の深さも得られるように授業改善を行っていきたい。
世界史B	多くの生徒が意欲的に取り組み、興味関心も高まったようで、授業内容・難易度・進度などについても概ね良好な回答を得た。グループ学習について理解しやすいとの回答も見られ、進度や社会情勢を考えながら実施を検討したい。一部困難さを抱える回答も見られた。生徒の状況を勘案しながら、授業内容の精選や教材研究に努め、歴史への理解が深まる授業に努めたい。
日本史A	人数が少ない点を効果的に活かし、教室での講義形式の授業はほとんど行わなかった。主に学校図書館を利用して、グループ分けを行い、教科書の記述に対して、本県ではどういう状況だったのか、原史料の読解、発表を行う授業を数多くおこなった。授業の内容・進度・難易度などに対し、概ね満足という結果であった。今後も教科書の記載に沿いつつ、多くの歴史的事実が存在することを意識させ、同時代の資料活用などを通じて、歴史に対する理解が深まるように気を配っていききたい。
日本史B	概ね良好な回答を得たと考えているが、授業理解等について分かりづらさを訴えている回答や興味関心が高まっていないという回答も一部見られた。進捗が進むにつれて単なる暗記では対処しきれなくなってくることが予想されるので、協働学習や視聴覚教材も取り入れた復習の機会を増やし、生徒の興味関心がさらに深まるよう気を配っていききたい。
地理A	全体的にみると、概ね良好（肯定的）な回答ではあった。しかし、生徒の学習意欲や関心を引き出す点で改善の余地がある。後期は「グループ学習」、「調べ学習」を増やしていきたい。また、今後とも授業方法や教材なども改善していきたい。
地理B	ペアでの教え合いや協働学習・発表などは毎時間とはいかないが短時間でも取り入れてきた。授業進度や難易度の面では概ね肯定的な評価であったが、生徒の興味や関心を引き出す点では、改善の余地が多い。授業内容についての興味関心理解が深まるよう、授業づくりに努めていきたいと思う。
倫理	授業に集中して取り組むことや授業の難易度、授業進度に関して肯定的な回答が多い。また、授業に対する興味・関心も高く、授業内容に深さを感じている生徒も多い。今後は知識の定着にとどまらず、既有知識を使って課題解決にむけて協議・討論するような授業に取り組むたい。
数学Ⅱ	授業に対しての取り組みは例年、昨年とあまり変化はないが、予習・復習への取り組みが不十分な生徒も依然多い。再度、家庭学習の重要性を共有して、「学習の継続」を前提とした取り組みに努めたい。
数学B	多くの生徒が授業に集中しているが、内容の深まり、授業スピードが早くなったことに対して、やや苦手意識、理解不足がでている可能性がある。予習・復習に十分に組み組めていない生徒も見られるため、家庭における学習の重要性を共有し、予習・復習と学習の継続への取り組みに更に努めたい。
化学	多くの生徒が授業を大切に、意欲的に学習に取り組んでいる。授業の進度・難易度については多くの生徒が適切であると答えている。今後、より専門的な学習内容となるため、予復習を踏まえての実験・考察を多く実施していきたい。科目に対する興味関心も一層高まるものと期待している。
生物	今年度から2年で「生物」の授業が始まり、週5時間実施している。生物基礎は8月中に終わり、年度末までに専門生物も少なくとも3分の2は終了しないとイケない。生徒の体感としては（例年の生徒と比べて）進度が速く感じているようである。家庭学習なども促しながら授業展開を工夫していきたい。
物理	授業は聞くだけの場ではなく、「考える」場である。「考える」ためには予習、復習が必須だが、平素の授業の状況を見ると、家庭学習が不十分で聞くだけの授業になってしまっている生徒も多い。理系としての家庭学習の習慣の定着させて、より多くの生徒が「考える」授業としていきたい。
生物基礎	おおむね良好な結果であった。PCやプロジェクトの活用などを通じてより関心を持たせる授業を心掛けたい。グループワークなども必要に応じて取り入れたいが、現状でよいと考えている生徒も多いことも考慮に入れながら工夫をしていきたい。
化学基礎	昨年度の履修内容をもとに、より実践的な演習や実験を計画実施している。理解度や関心の高まりがアンケートよりうかがえたため、今後も同様の授業展開を継続していきたい。
地学基礎	概ね良好な結果であった。今後も理解が難しい場面や思考を深める場面などで、グループワークや情報機器などを適切に組み合わせた授業展開を行っていききたい。
物理基礎	授業の取り組み、理解度ともに良好であった。少人数の強みを生かして、個に応じた授業を実践できている成果だと言える。今後は、グループワークも適切なタイミング及び教材で取り入れていきたい。
保健体育	大半の生徒が授業に集中して取り組めており、進度・難易度についても適切である。体育実技の授業は週2回ではあるが、多くの生徒の技能・体力の向上が見られる。パソコン（タブレット）の活用や、グループ学習の場面を積極的に取り入れ、選択制授業の充実を図り、3年生の男女共修選択制授業へのよい準備期間となるよう働きかけていきたい。
コミュニケーション英語Ⅱ	1年次から継続して、多くの生徒が集中して授業に取り組んでいる。進度・難易度とも適切であると感じている生徒が多く、学習活動に非常に積極的である。予習・復習も習慣化され、英語運用能力の向上を図ろうと工夫して学習に励む姿が見られる。
英語表現Ⅱ	1年次から継続して、多くの生徒が集中して授業に取り組んでいる。授業への関心・意欲が高く、授業を肯定的に捉えている生徒の割合も高い。コミュニケーション活動に意欲的に取り組み、英語運用能力を更に高めようとする姿が見られる。

令和3年度 第3学年 前期授業アンケート結果 分析表

現代文B	全体的に学習に意欲的に向かっているが、復習が十分でない生徒もあるので、復習を促す働きかけをしていきたい。生徒の実態を見ながら、難度の高めの文章を増やしていきたい。
古典B	授業の難度が低くはない中で、生徒はよく努力している。今後も、基本事項の確認を繰り返し行いながら、それらを用いることで「自分で読める」喜びを感じさせ、さらに深い理解につなげていきたい。
世界史B	授業の難易度・進度・わかりやすさなど多くの項目で昨年と同様肯定的な回答が多かった。授業を受けて興味・関心が高くなった生徒も多く、大多数の生徒が意欲的に学習に取り組んでいる。今後も引き続き生徒の状況を勘案しながら、授業内容の精選や教材研究に努め、歴史の多面性を感じ歴史への理解が深まる授業に取り組んでいきたい。
日本史B	概ね良好な回答を得たと考えている。また、授業の進度と生徒の理解度を両立させることに尽力したが、その結果が一定程度出ていると感じる。協働学習の機会がコロナの影響で大幅に減っているが、その中でも歴史的知識や読解力をベースにして深く考察していくことができる展開を工夫したい。
地理B	学習意欲が高く、関心を持って授業に取り組んでいる。概ね肯定的な回答が多く、地理学の世界を深く感じてもらえる学習を進めたい。地誌的な考察方法に関する学習においても、主体的な学習による理解が進むよう工夫したい。
政治・経済	授業に集中して取り組むことや授業の難易度、授業進度に関して肯定的な回答が多い。また、授業に対する興味・関心も高く、授業内容に深さを感じている生徒も多い。今後は知識の定着にとどまらず、既有知識を使って課題解決において協議・討論するような授業に取り組みたい。
数学Ⅲ	多くの生徒が授業に集中しているが、内容の深まり、授業スピードが早くなったことに対して、やや苦手意識、理解不足がでている可能性がある。予習・復習に十分に取り組めていない生徒も見られるため、家庭における学習の重要性を共有し、予習・復習と学習の継続への取り組みに更に努めたい。
発展数学ⅠAⅡBⅢ(理系)	授業に対する取り組みは例年、昨年とあまり変化はないが、予習・復習への取り組みが不十分な生徒も依然多い。再度、家庭学習の重要性を共有して、「学習の継続」を前提とした取り組みに努めたい。
発展数学ⅠAⅡB α (文系)	授業に対する取り組みは例年、昨年とあまり変化はないが、予習・復習への取り組みが不十分な生徒も依然多い。再度、家庭学習の重要性を共有して、「学習の継続」を前提とした取り組みに努めたい。
発展数学ⅠAⅡB β (文系)	授業に対する取り組みは例年、昨年とあまり変化はないが、予習・復習への取り組みが不十分な生徒も依然多い。再度、家庭学習の重要性を共有して、「学習の継続」を前提とした取り組みに努めたい。
化学	多くの生徒が意欲的に取り組んでおり、おおむね良好な結果であった。授業の難易度については、適切であると感じてくれているが、苦手意識を持つ生徒や理解不足の生徒も多い。教材を工夫したり補習を行ったりして生徒が自らに必要な取り組みを考えながら学習できるような状況にしていきたい。
物理	多くの生徒が意欲的に取り組んでいる。日常には感じられない現象も多く理解が難しい分野もあるが、理論を深めていくことで思考力や表現力を高めていきたい。また、問題演習を通して物理的な考え方を丁寧に身につけさせたい。
生物	生徒の意欲、授業の進度・レベルなどは比較的良好な意見が多かった。多くの生徒が授業に集中して取り組んでいる。今後は先端の内容を含め、高度な内容を扱う授業も心掛けたい。
実践生物基礎	おおむね良好な結果であった。PCやプロジェクトの活用などを通じてより関心を持たせる授業を心掛けたい。グループワークなども必要に応じて取り入れたいが、現状でよいと考えている生徒も多いことも考慮に入れながら工夫をしていきたい。
実践化学基礎	問題演習を中心とした既習事項の復習を主としているため、生徒による取り組みの積極性に差が生じているようである。生徒の積極性を引き出すような展開や、理解に苦しんでいる生徒への個別の対応を取り入れていきたい。
実践地学基礎	概ね良好な結果であった。今後も理解が難しい場面や思考を深める場面などで、グループワークや情報機器などを適切に組み合わせた授業展開を行ってきたい。また、演習ではグループ活動などを取り入れ、表現や思考をより深めていきたい。
保健体育	大半の生徒が授業に集中して取り組んでおり、進度・難易度についても適切である。3年生は週3回あるため、技能・体力の向上を感じている生徒が多いようである。パソコン(タブレット)を効果的に活用し、男女共修選択制授業の充実を図り、生涯体育につながる力を身に付けさせたい。
コミュニケーション英語Ⅲ	3年間、多くの生徒が集中して授業に取り組んできている。授業進度・難易度とも適切であると肯定的に捉えている生徒の割合が非常に高く、積極的に英語学習に取り組む姿が見られる。大半の生徒にとって予習・復習が習慣化されており、自主的に英語運用能力向上を図る力を身に付けている。
英語表現Ⅱ	3年間、多くの生徒が集中して授業に取り組んできている。授業への関心・意欲・満足度の割合も高く、積極的に英語学習に取り組む姿が見られる。予習・復習も習慣化されており、自主的に英語運用能力向上を図る力を身に付けていると感じる。コミュニケーション力の育成にも関心が高く、協働学習に対して積極的である。